

全員集合!!

地域・学校・家庭

みんなで一緒に楽しみませんか?

『小・中学生と一緒に 町内花壇片付けボランティア大募集』

★ 10/7(月) 10時45分～約1時間 (雨天中止)

★ 愛別小学校玄関前集合 (軍手・ほうき 持参)

★ 10/4(金)迄にお申込みを!! [愛教委 ☎ 6-5115]

〔※小雨時は、役場へ集合頂き、ボランティア・職員のみで周辺の花壇片付けを行いますので、併せてご協力をお願い致します。〕

当協議会の本年度の新たな取り組みとして、「ボランティア等地域体験活動の実施」を計画し、上記日程にて愛別町連携教育推進委員会(学校種間交流部会)と共催で、町内各所の花壇片付けを行います。小・中学生が地域の方々と共に奉仕活動を行うことでの交流・触れ合いにより、「豊かな人間性」や「生きる力」を育むことを目的としておりますので、本協議会員をはじめ、多くの町民の皆様のご参加をお待ちしております。

活動内容

8グループに分かれて行う、小学校及び役場周辺、本町通りの花壇の花抜き・清掃活動のサポートをお願い致します。

(※本紙回覧日より開催まで短期間ですが、参加頂ける方は事前のお申込みをお願い致します。)

青少協だより

第183号

令和6年10月1日発行
愛別町青少年育成協議会

《会員寄稿》

「人前で力を最大限に 発揮する方法」

(家庭環境部会) 星 肇

〔愛別町子ども会育成会連絡協議会長〕

突然ですが、あなたは発表会などで人前に立って、緊張してうまくいかなかったという経験はありませんか。

私は年に数回、お客さんの前で楽器を演奏する機会があります。そんな私が、人前でも自分の力をうまく出すコツを教えましょう。

スポーツをやっている人、音楽をやっている人、ダンスをやっている人、他にもどんなものにも当てはまる事ですので、それらの「本番」の場面を想像して読んでみてください。人前で最高のパフォーマンスを発揮するために大事なものは、次の3点だと私は思っています。

① 正しく緊張する

本番前、そして本番中、人前で何かを発表する時には緊張しますよね。それは正しい反応です。

まずは、緊張はしても良いんだと、それが人間として普通の事なのだと思解をして下さい。

見に来ているお客さんがいるならば、かぼちゃだなどと

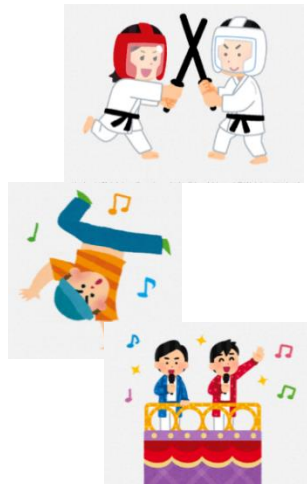
思っただけを逸らさず、自分の事を見に来てくれたその人達に何を見せたいのか、改めてしっかりと見直してみてください。



② 自分の体をチェックする

緊張をすると心拍が速くなり、動作が早くなりがちになります。失敗してしまうのは大体それが原因です。試しに、口を動かしたり、手を動かしたり、グーを作ったり、パーを作ったりしてみてください。自分の体が普段通りに動くかのチェックをしましょう。普段の自分と比較してみてください。普段の自分と比較してみて、焦っていると感じたら、わざとゆっくり動いたり、深呼吸して落ち着いたりしてみてください。

③ 最高のパフォーマンスを見せると考える



「失敗しない」というのが最高のパフォーマンスであると勘違いしてはいけません。発表をする時、練習中にこだわってきた事、ここだけは聞いて欲しい、見て欲しいという事、自分が大事にしている事、みんなが頑張った事、それらが見せられるか、伝わるかがポイントです。その為には「失敗しない」という後ろ向きに怖がりながら発表をするよりも、「最高のものを見せる」というポジティブな姿勢で伸び伸びと、胸を張って、「私が見せたいものはコレです！」と伝える、伝わる発表をする事が大事です。

人前でなにかを
発表するというのは
とても尊い事だと思えます。



それまでに何時間、何十時間、何百時間と練習してきた事を、ほんの何分かで発表しなければならぬからです。だからこそ、正しい姿勢で本番に臨み、少しでも後悔が残らないようにしたいものです。

《会員寄稿》

「子どもの遊びには…」

(家庭部会) 中村 隆一

〔愛別町幼児センター〕

世の中は目まぐるしく進歩し、インターネットなどによって高度な情報化社会となった今、私たちの生活にもAIが活用されつつある時代となりました。アナログな環境で育った昭和生まれの私と、急速にデジタル化する世の中で育っている今の子ども達とは、育つ環境がだいぶ違うように感じています。中でも子ども達が遊ぶ環境はだいぶ違うのではないかと思います。私は、幼児センターに勤務して、日々、乳幼児との遊びを通して保育を行っています。園では、保育者がある程度設定した遊びの環境の中で、子ども達が直接人や物と関わりながら、やってみたい遊びを楽しんでいるので、まさにアナログな環境と言えるでしょう。そのように子ども達が楽しく遊ぶ姿を見ると、今も昔も子ども達が遊びにかける情熱はかわらないなー、と感じます。それでは家庭での子ども達は、どのような遊びを楽しんでいるのでしょうか。地域の公園が少なくなった今日、スマホでのオンラインゲームやYoutubeなどの動画配信サイトなどは、多くの子ども達が楽しんでいる遊びの一つではないでしょうか。

では、私が子どものころは、どのような遊びを楽しんでいたのだろうか、子どものころを思い返してみると、毎日、山へ友達と探検をして行っていたことを思い出しました。当時、私が小学生の

低学年のころのことです。

私が住んでいた地域には山があつて、毎日、友達と一緒に探検に出かけていました。大人になつた今では、とても考えられませんが、自分の背丈よりも高い草むらの中を



潜り抜け、山の中にある沼や小川を見つけ、魚やザリガニ、よくわからない謎の虫を宇宙生物だと言つて捕まえていました。

また、探検に必要な武器を作るため、周りに生えている竹のような節のある植物の硬い茎をねじ切り、それを剣にしていました。私は、その剣で周りの草木と戦い、最後まで折れなかった一番硬い茎をその日の自分の剣にするという遊びが、当時の私は大好きで、とてもワクワクする遊びだったことを覚えています。

そのようなことを考えると、どんなに時代が変わつても、子ども達の遊びにかける情熱を絶やさないようにするためには、ワクワクするような遊びの環境が必要なのだと思います。

こども見守り隊 ボランティア募集中

「こども見守り隊」とは、主に通学路の横断歩道において、児童が安全に信号を渡るための誘導や指導を行う活動です。

また、町民の皆様は、その日常の活動の中で、例えばご自宅の前で花に水をあげながら、また、ウォーキングをする中で見守りを行うことができます。

これにより、地域全体で「見せる防犯」を推進し、不審者などの防犯対策にも寄与することを目指しています。

町民の皆様には、町民の安全と子どもたちの健やかな成長に寄与するこの活動にぜひご参加いただきたく、ご協力をお願い申し上げます。

活動は、令和7年度からの予定です。

【申込先】 愛別町教育委員会
☎ 6-5115

